



# かがやく麻生中!

令和7年7月15日発行 第22号  
行方市立麻生中学校  
住所:行方市南327-3  
電話:0299-80-8070

## 自分の思いや考えを表現し課題解決しようとする(語り場 学び場 麻生中)

### 令和7年度後期生徒会役員選挙



7月14日(月)6校時に令和7年度後期生徒会役員選挙を実施しました。本選挙に向けて、6月から準備をすすめてまいりました。本選挙に携わった全ての

生徒達が、今後も、よりよい学校生活・学習へつなげられるよう支援してまいります。

また、これまで、前期生徒会役員として、「よりよいみんなの学校づくり」を目指して、楽しい 学び楽しい学校行事 集団活動を企画・運営したことについて、敬意を表するとともに感謝いたします。たいへん、頼もしく、そして力強く麻生中生徒を牽引しました。素晴らしい活躍ぶりでした。この経験を、今後の学校生活に生かし、よきアドバイザーとして、後期生徒会役員を見守り支えてください。

令和7年度後期生徒会役員選挙に立候補した15名の生徒の皆さんは、勇気ある1歩を踏み出しました。麻生中学校をよりよくしたいという思いをもつこと、人のために何かしたいという思いを抱くこと等立候補理由は様々ですが、立候補すること自体に大きな価値があります。もちろん、当選するという結果も大切ですが立候補し討論会に参加し、よりよい学校づくりのために自分の思いや考えを伝えきったという事実を大切に、今後のよりよい学校生活、麻生中づくり、そして学習へつなげてほしいです。他の生徒・先生方も全力でサポートします。なお、討論会の内容は以下に示しましたとおり、生徒一人一人から、本気でよりよい学校をつくっていききたいという意思が伝わる質の高い討論会となりました。「麻生中ブランド」を維持向上させているのは、このように丁寧にそして誠実に思いをもって生活している生徒のおかげだと改めて気付かされました。また、令和7年度後期生徒会役員選挙の成功に向けて、責任をもって、その職責を果たした選挙管理委員の皆さん、生徒会役員選挙大成功は皆さんの力がなければ成し遂げられませんでした。たいへんありがとうございました。

#### <討論会における立候補者の主な意見>

- (1) Aグループ(5名) テーマ1 校則改善(髪型)について
  - ・自由と節制のバランスが重要 統一感が重要 校則を変えるのはよいが、自由化というより、今の校則を改善する方がよい 授業に支障がない髪型がよい 学校のイメージを損なわない髪型がよい
  - ・全生徒にアンケートを実施するとよい 試行期間を設けた方がよい 試行期間の髪型は費用がかからないようにした方がよい 保護者、教職員にもアンケートを実施した方がよい
  - ・他の学校の校則も参考にした方がよい
- (2) Bグループ(5名) テーマ2 住み続けられる街づくりについて
  - ・掃除では洗剤は少なめ、節水 節電が重要 地域とのかかわり 市の伝統の継承する 植物栽培など自然を大切にする 地域の方々と身近な場所のゴミ拾いの実施 災害時の避難所設置 災害時の炊き出し 麻生中生徒と地域の人々との交流 イベントで交流を図る 楽しいゲーム 楽しい会食 地域に還元できる取組 募金し、シンボルを設置 生活に根差さない、身近にあるものをシンボルとする(さつまいも等) 行方市のよさをPRする
- (3) Cグループ(5名) テーマ3 校則改善(制服への着替え)について
  - ・夏は熱中症防止、授業時間に間に合わせるため、体育があった場合は制服に着替えない
  - ・10分休みに着替えると、次の授業(特に教室移動のある授業)に遅れてしまう可能性
  - ・その場に適した服装が大切で熱中症が心配されないのであれば着替えた方がよい
  - ・冬は体育後も制服に着替えた方がよい
  - ・冬は授業時間に間に合わせるため、体育があった場合は制服に着替えない
  - ・体育以外の教科については、熱中症が心配されないため制服への着替えがよい
  - ・試行期間後にアンケートを実施する方がよい
  - ・清潔面 安全面も考慮して制服に着替えるか着替えないか検討する

### 職場体験学習

8月5日(火)~7日(木)の2年生による職場体験学習を実施します。本事業の目的は、体験活動をとおして、望ましい職業観、勤労意識の醸成です。生徒は、希望する職種を選択し、実際に事業所に出向き、2日程度、体験学習を行います。本事業をとおして、働くことの意義や目的、働く人々の様子、そして働きがいに触れ、3年生での進路選択、決定につなげてほしいと願っています。



**編集後記** 少し前のお話です。地域・保護者の皆様から生徒や職員の頑張りを認め、励ます、心温まる言葉を頂戴しました。職員一同、とてもうれしく感じ、励みとなりました。改めて保護者・地域の皆様の支えがあってこそその教育活動だと実感しました。